

平成 25 年度 大学院修士課程 鍛金専攻実技試験 (指示書)

- 日 時 2月13日(水) 筆答試験 10:00~11:00
実技試験 10:00~16:00
(昼食は 12:00~12:45 の間に鍛金学生教室でとること)

○ 問 題

与えられた図面に従い器をつくりなさい

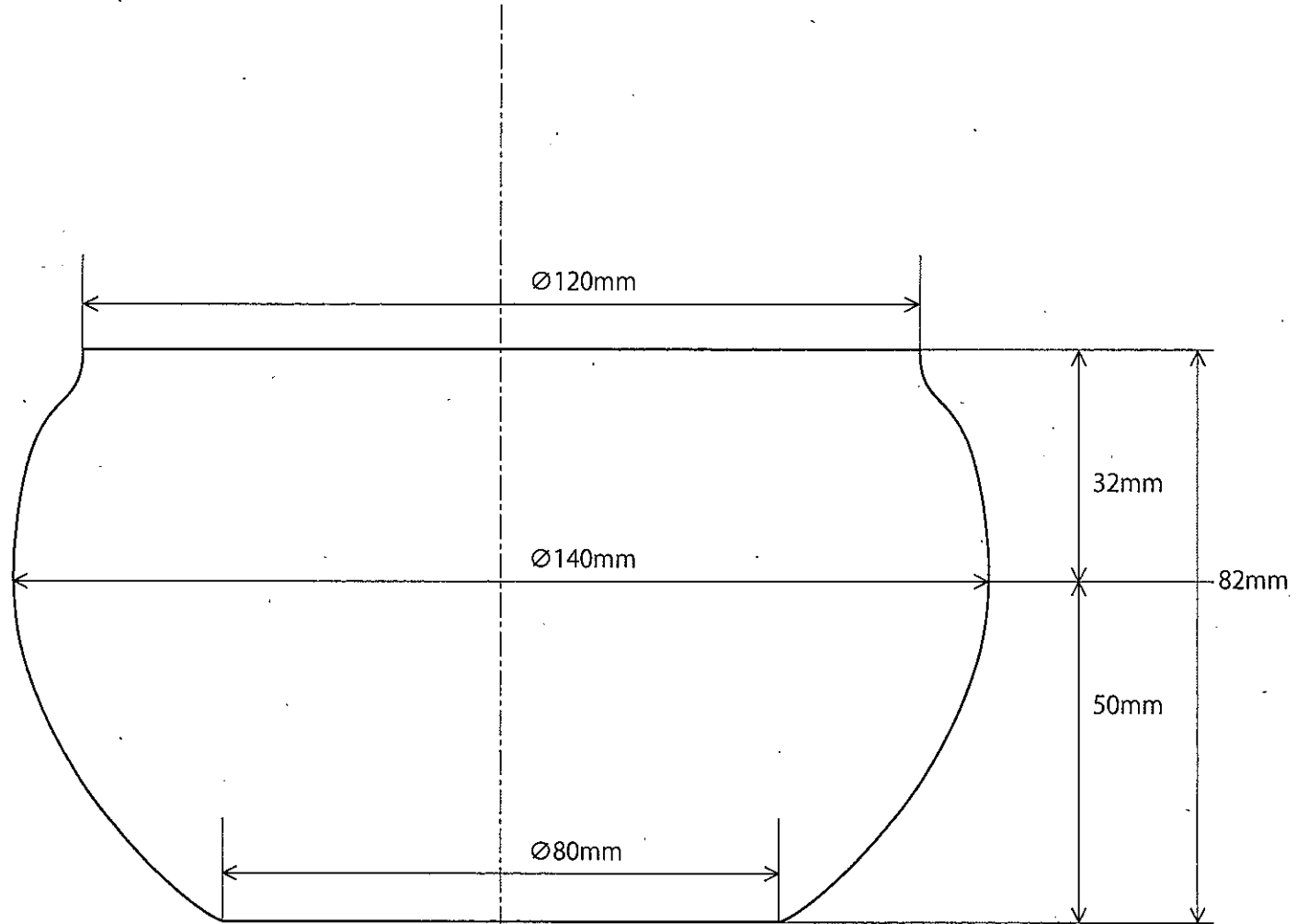
12:00 まで学生教室に戻れないので道具等はすべて試験室に持っていくこと
携帯電話は電源を切ってカバンにしまうこと

※クリアシートはゲージに加工してもよい

材料: 銅板 365×300 t=1.2mm

- 面接試験は 16:30 より鍛金教員室で行います

受験番号	
------	--



品名	器
材質	銅 t1.2mm
製図者	鍛金研究室
縮尺	1/1
制作年月	平成 25年 1月

平成 25 年度 大学院修士課程 鍛金専攻筆答試験

解答時間：10：00～11：00

問題1 用意された作品について自己の見識をもとに素材、技法等を含め論じなさい。

※1000字以内にまとめること

原稿用紙3枚、草案用紙2枚支給

問題2 下記の（ ）に当てはまる語句を記述しなさい。

- ・銀鑑（五分鑑）の融点は（ ）℃で、割合は銀10に対して真鍮（ ）である。
- ・色の異なる金属を積層し（ ）接合した地金を丹念に彫り、文様を出したものを（ ）という。
- ・赤銅（烏銅）は（ ）と（ ）の合金である。
- ・四分一（朧銀）は（ ）と（ ）の合金である。
- ・絞り加工 で使う（ ）は配合比で銅70%に対して亜鉛30%が加工性がよい。
- ・彫鍛金で使用されるヤニの主成分は、松ヤニと（ ）と（ ）である。

問題3 下記の金属色上げ方法で使用する薬品名を空欄に記述しなさい。

	薬品名	分量
銅煮色着色用溶液	水	1リットル
	()	() g
	()	() g

問題4 銅煮色着色の手順を記しなさい。

問題5 ドイツ式溶接吹管によるガス溶接作業の手順を記しなさい。